

第 15 回全道高等学校文芸研究大会作品コンクール
兼第 32 回全国高等学校文芸コンクール北海道予選応募規定

1 趣 旨

全道の文芸活動をしている高校生を対象に、文芸創作活動の振興と、創作技術の向上を図ることを目的とする。

2 主 催

北海道高等学校文化連盟文芸専門部

3 応募資格

- (1) 北海道高等学校文化連盟に加盟している高等学校、中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部、高等専門学校（第 3 学年までに限る）の生徒であること。
- (2) 支部大会の各部門で入賞した個人および団体であること。
- (3) 支部大会を実施していない地区については、専門部が別途審査し、推薦を受けた個人および団体とする。なお、作品は、直接北海道高文連文芸専門部事務局（札幌創成高等学校）へ提出すること。審査結果は当番校事務局から連絡する。
- (4) 上記に定める生徒以外の場合は、専門部が別途審査し、審査結果は当番校事務局から連絡する。
なお、作品は、直接北海道高文連文芸専門部事務局（札幌創成高等学校）へ提出すること。

4 公募作品

- (1) 小説部門…………… 1 人 2 編以内（400 字詰め原稿用紙 30 枚以内）
- (2) 評論随筆部門…〈文芸評論〉 1 人 3 編以内（400 字詰め原稿用紙 20 枚以内）
自由課題（作家論・作品論・文芸思潮など。共同研究も可）
〈随筆〉 1 人 3 編以内（400 字詰め原稿用紙 10 枚以内）
- (3) 詩部門…………… 1 人 3 編以内（5 枚程度が望ましい）
- (4) 短歌部門…………… 1 人 3 首以上 10 首以内を併記のこと
- (5) 俳句部門…………… 1 人 3 句以上 10 句以内を併記のこと
- (6) 文芸部誌部門…………… 1 校 1 点 平成 28 年 10 月 1 日から平成 29 年 9 月 13 日の間に発行されたもの（中高一貫校の部誌・同好会発行によるものも可）

5 作品データと応募作品一覧表の送信締め切り・メールの宛先

平成 29 年 8 月 16 日（水） 17:00 必着

作品応募受付担当 北海道大麻高等学校 道高文連文芸専門委員 倉部 英利子

受付用 Email アドレス fivekeys05@gmail.com

6 応募規定

- (1) 未発表の作品を原則とする。ただし、平成28年10月1日以降に発行された「文芸部誌」「生徒会誌」など、公的な場で発表された作品は可とする。
- (2) 不特定多数の人が見ることのできるネットやSNS上に掲載した作品は不可とする。ただし、一定のグループ内でしか閲覧できないSNS、HP上での発表等は可とする。
- (3) 応募原稿は、MS-WORD（保存形式はdoc）を使用し、A4 番用紙 20 字×30 行（1 文字 16 ポイント）の書式で印字すること。応募書式については、別紙参照のこと。
- (4) 小説、評論、随筆の題名、学校名、学年、氏名については制限字数に含めないのので、表紙をつけて記載すること。
- (5) 支部大会を経ることなく直接全道大会に応募する学校の場合、8月16日（水）までに作品データ（大麻高校に）メール送信し、更に、全国コンクール用として、印刷物を、1作品につき次の部数を印字し、応募票添付の上、送付すること（コピー可）。不備なものは受理しない。

小説2部、文芸評論3部、随筆3部、詩4部、短歌4部、俳句4部、文芸部誌5部。

【印刷物】郵 送

締切日 9月7日（木）必着

送付先 札幌創成高等学校 北海道高等学校文化連盟文芸専門部

事務局長 大 阪 隆

住 所 〒001-8501 北海道札幌市北区北29条西2丁目1-1

【作品データ】メール送信

締切日 8月16日（水）17:00必着

送付先 北海道大麻高等学校 北海道高等学校文化連盟文芸専門部

専門委員 倉部 英利子

受付用 Email アドレス fivekeys05@gmail.com

- (6) 全道審査用応募作品のデータ書式について

- A4 版縦置き、縦書き。
- 小説、評論、随筆、詩は3段組。短歌は2段組。行20文字、1ページ30行
- 2段組1行28文字、1ページ30行
- フォントは10.5ポイント MS明朝（MSP明朝ではない）
- 題名・学校名・学年・氏名はMSゴシック（太字）

（別紙3段組、2段組のサンプルを参照）

- (7) 支部大会を経ることなく直接全道大会に応募する学校の場合、MS-WORD（保存形式はdoc）で作成したデータを、各部門に別ファイルで、大麻高校（倉部）のメールアドレスへ添付送信すること。その際に、応募作品名一覧表（エクセル）を別ファイルで添付すること。応募作品名一覧表は、大会当番校

岩見沢東校ホームページからダウンロードする。

- (8) 短歌・俳句部門については、3首・3句以上10首・10句以内の応募とするが、連作とはみなさず各首・各句に審査する。
- (9) 各支部で各部門に選考した作品を応募すること。
- (10) 点字による作品は、墨字訳のうえ送付すること。
- (11) 作品は返却しない。
- (12) 作品は、第32回全国高等学校文芸コンクールに応募する。

7 出 品 料

- ・出品料 1名につき1500円
- ・文芸部誌出品料 1校につき3000円

8 審 査

応募作品の審査は、以下の者が担当する。

- ・文芸関係者
- ・北海道高等学校文化連盟文芸専門部専門委員

9 賞

部門ごとに、原則として下記の賞を与える。

- (1) 最優秀賞（文芸部誌部門は金賞）……1名（文芸専門部は若干校）
- (2) 優 秀 賞（文芸部誌部門は銀賞）……2～3名（文芸専門部は若干校）
- (3) 入 選（文芸部誌部門は銅賞）……若干名（文芸専門部は若干校）